

[登録日]令和7年1月23日

松江市石橋町421番地

正面外観



◆建築年代：大正期頃

◆構造：木造2階建て

■概要

パンェブール（旧桑原商店）は松江城の北側、江戸時代より醸造業などの職人町として栄えた石橋町に位置しています。

店舗の前身である「桑原商店」は酒・菓子・たばこ・日用品を扱う店として明治20年（1945）に創業。現在はパンの販売店として営業を続けています。

道路に面する東側2階の外観はうだつを設けた特徴的な造りで、軒や窓廻り、付け柱には漆喰で装飾が施され、洋風の面影が残っています。一方、西側は2階に木製のガラス戸、屋根や庇は瓦葺きで純和風な造りとなっています。洋風と純和風を兼ね備えた建物です。また、側面の外壁は防火壁を使用し、頂部には「山」を表す「への字」と「出」の装飾が施されています。

地域の歴史的景観に寄与するとともに、城下町松江に残る近代建築として貴重な建物です。



側面防火壁



背面外観



位置図



【市登録歴史的建造物】
パンェブール（旧桑原商店）